九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[107] 文學研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/16886

出版情報：文學研究. 107, 2010-03-01. 九州大学大学院人文科学研究院
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

彙　報

国語学国文学研究室

講義題目

平成二十一年度第一学期

文学部

国語学

国語学講義Ⅰ　日本語史概説　高山教授
国語学演習Ⅰ　古代韻文の研究――元暦校本万葉集（1）　高山教授
国語学講義Ⅲ　日本語文法史研究（1）　青木准教授
国語学演習Ⅲ　中世語研究（1）　青木准教授

国文学

国文学講義Ⅲ　物語文学史研究　辛島教授
国文学演習Ⅲ　『むぐらの宿』注釈　辛島教授
国文学演習Ⅶ　日本近代文学研究　比較社会文化研究院　松本教授

人文科学府

日本語史特論Ⅲ　連濁の史的展開　高山教授
日本古代語史研究Ⅲ　古代語研究の諸問題――金光明最勝王経音義（1）　高山教授
日本語学方法論特論Ⅲ　日本語文法史研究（1）　青木准教授
日本近代語史研究Ⅲ　近代語研究の諸問題（1）　青木准教授
中世散文論特論Ⅲ　物語文学史論　辛島教授
日本中世文学作品研究Ⅲ　中世文学研究の方法　辛島教授
日本近代文学作品研究Ⅲ　日本近代文学研究　比較社会文化研究院　松本教授
論文指導　各教員

平成二十一年度第二学期

文学部

国語学

国語学講義Ⅱ　人間関係の日本語史　高山教授
国語学演習Ⅱ　古代韻文の研究――元暦校本万葉集（2）　高山教授
国語学講義Ⅳ　日本語文法史研究（2）　青木准教授
国語学演習Ⅳ　中世語研究（2）　青木准教授
国語学講義Ⅷ　近代日本語史研究資料群をめぐって

日本女子大学文学部　清水康行　教授

国文学

国文学講義Ⅳ　物語文学史研究（続）　辛島教授
国文学演習Ⅳ　『むぐらの宿』注釈（続）　辛島教授
国文学演習Ⅷ　日本近代文学研究
　比較社会文化研究院　松本教授
国文学講義Ⅷ　共時的近世文学史の試み
　―寛政期前後を中心として―
　広島大学大学院　久保田啓一教授

人文科学府

日本語史特論Ⅳ　日本語音韻史・韻律史の統合的研究
　高山教授
日本古代語史研究Ⅳ　古代語研究の諸問題
　――金光明最勝王経音義（2）　高山教授
日本語学方法論特論Ⅳ　日本語文法史研究（2）
　青木准教授
日本近代語史研究Ⅳ　近代語研究の諸問題（2）
　青木准教授
日本語学特論Ⅳ　近代日本語史研究資料群をめぐって
　日本女子大学文学部　清水康行　教授
中世散文論特論Ⅳ　物語文学史論（続）　辛島教授
日本中世文学作品研究Ⅳ　中世文学研究の方法（続）
　辛島教授
日本近代文学作品研究Ⅳ　日本近代文学研究
　比較社会文化研究院　松本教授
日本文学特論Ⅲ　共時的近世文学史の試み
　―寛政期前後を中心として―
　広島大学大学院　久保田啓一教授
論文指導　各教員

学会・研究室行事

○九州大学国語国文学会総会並びに研究発表会

（二〇〇九年六月七日（日）
　於九州大学留学生センター国際ホール）

研究発表会
『源氏物語』の研究―右大臣家の政治的位置―
　九州大学大学院　佐藤瞳
中島広足『樺島浪風記』続攷―紀行から思想書へ―
　九州大学大学院　吉良史明
お大の夢、家光の夢―吹き出し型の夢事始め―
　国文学研究資料館　入口敦志
語幹末尾音節にイ列音を含むク活用形容詞について
　九州大学大学院　森哲子
古記録・古文書等にみる〈けしき〉の用法の展開
　九州産業大学　辛島美絵

動詞重複構文の展開　九州大学　青木博史
特別講演会
『伊勢物語』後人注記をどう読むか　国文学研究資料館館長　今西祐一郎
懇親会（於福岡リーセントホテル）

○平成二十一年度西日本国語国文学会

（二〇〇九年九月五日（土）・六日（日）　於別府大学）
公開講演
草双紙の表記　福岡女子大学教授　矢野準
研究発表
「他音属自」連声の解釈について　九州大学大学院　蛭沼芽衣
「なにも」の歴史　九州大学大学院　川瀬卓
田中大秀著『蜻蛉日記紀行解』について　九州大学大学院　金英燦
（九州大学関係者のみ）

研究室刊行物

○語文研究　第一〇六号（二〇〇八年十二月発行）
安永期における美角・定雅の俳語活動
―西村定雅年譜攷（一）―　田邉菜穂子
『醒睡笑』巻三「吝太郎」第六話の典拠
―朝鮮漢文笑話集の類話新資料―　琴榮辰
馬琴の「水滸伝」観の形成と読本執筆　菱岡憲司

○語文研究　第一〇七号（二〇〇九年六月発行）
この「翁」は「嫗」である
―『竹取物語』の本文批判―　後藤康文
豊子愷『源氏物語』中国注釈の舞台裏　徐迎春
硯瓶の水　田村隆
続・瓜の歌
―『梁塵秘抄』三七一番歌について―　大木桃子
幕末歌壇の諸相
―中島広足の目から見た幕末歌壇―　吉良史明
新方言としてのとりたて詞ゲナの成立
―福岡方言における文法変化の一事例―　松尾弘徳

○文献探究　第四十七号（二〇〇九年三月発行）
《口絵・解説》捷解新語　藤山沙織
小津久足「花鳥日記」について・付翻刻　菱岡憲司
天理大学附属天理図書館蔵
大隈言道『続草径集』翻刻と解題（二）　進藤康子
京都府立総合資料館蔵『古今集註』翻刻と解題（三）
日高愛子
福岡県田川市成道寺蔵『小督局畧縁記』の詞章と翻刻
森誠子
「承香殿の女」の行方
―『在明の別』における『とりかへばや』受容の一端―

明治期和訳聖書における〈教会〉訳語　宮崎裕子
井料佐紀子

人事異動

四月一日　青木博史　准教授に着任

中国文学研究室

講義題目

平成二十一年度前学期

全学教育科目

古典の世界「東洋のこころ：史記講読」　静永准教授

文学部・初等教育・学科共通科目

コアセミナー　竹村教授ほか
文学基礎　竹村教授・静永准教授ほか
中国語会話Ⅰ・中国語作文Ⅰ　羊教師
中国語（中級）Ⅰ・中国語初歩Ⅰ　岡村講師
古典語（漢文）Ⅰ　（福岡大学）松浦教授

文学部

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　史記精読Ⅰ　静永准教授
演習　『東周列国志』演習　竹村教授
演習　千載佳句所収唐詩訳注（13）　静永准教授
演習　中国古典選読　羊教師
演習　中国文学研究法　羊教師・静永准教授
講義　中国語語音史　（北九州市立大学）佐藤教授
演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）西山准教授

人文科学府

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　六朝辞賦文学研究Ⅸ　静永准教授
演習　王昭君文学史研究　竹村教授
演習　文選集注（11）　静永准教授
演習　中国文学研究法　羊教師・静永准教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　竹村教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静永准教授

平成二十一年度後学期

文学部・初等教育・学科共通科目

人文学Ⅰ「文字を読む」　竹村教授ほか
中国語会話Ⅱ・中国語作文Ⅱ　羊教師
中国語（中級）Ⅱ・中国語初歩Ⅱ　岡村講師
中国語科指導法Ⅰ　（九州共立大学）黄准教授
古典語（漢文）Ⅱ　（福岡大学）松浦教授
中国文化論　（九州産業大学）呉教授

文学部

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　史記精読Ⅱ　静永准教授
演習　『東周列国志』演習　竹村教授
演習　千載佳句所収唐詩訳注（14）　静永准教授
演習　中国古典選読　羊教師
演習　中国文学研究法　羊教師・静永准教授
講義　中国語語音史　（北九州市立大学）佐藤教授
演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）西山准教授
集中講義　中国別集編纂史研究　（大阪大学）浅見洋二教授

人文科学府

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　六朝辞賦文学研究X　静永准教授
演習　王昭君文学史研究　竹村教授
演習　文選集注（12）　静永准教授
演習　中国文学研究法　羊教師・静永准教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　竹村教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静永准教授

学会・研究室行事

○中国文藝座談会

第二三九回（二〇〇九年一月二十四日）於四階会議室

謝霊運と建安詩壇　東美緒
薔薇のさく詩歌　勝本幸
明代の書肆とその詩作活動―福建書林劉氏を中心に―　有木大輔
琉球本と福建本―『二十四孝』と『童子摭談』を例に―　陳正宏

第二四〇回（二〇〇九年二月二十八日）於四階会議室

藤原道長と『白氏文集』　陳猌
毛斧季所見宋本『鮑氏集』考　土屋聡

第二四一回（二〇〇九年四月二十五日）於教育学部会議室

左思「三都賦」と地方志　栗山雅央
徳宗朝楽府制作と元稹「楽府古題序」　長谷川真史
蘇軾文集の成立に寄与した四川の姻戚について　原田愛
恋と女の日中文学―〈一国文学史観〉を超えて―　諸田龍美

第二四二回（二〇〇九年七月十八日）於四階会議室

白居易の応酬詩と唐代の手紙文　柳川順子
五代史故事に見える女たち―脈望館鈔本を中心に―　福永美佳
『孔子聖蹟図』と明・張楷の図賛　竹村則行

第二四三回（二〇〇九年九月十二日）於四階会議室

陸游と四川人士の交流

―四川制置使兼知成都府范成大の治績と関連して―　甲斐雄一

宋元文学批評史上における劉辰翁の評点活動の評価
―劉辰翁評点『李長吉歌詩』を中心に―　奥野新太郎

『集注文選』の成立過程について　陳翀

『文選』諸本研究の現状と課題　神鷹徳治

第二四四回（二〇〇九年十一月七日）於四階会議室

千宝における修史と志怪　雁木誠

駱賓王「帝京篇」について
―唐太宗「帝京篇十首」を手がかりとして―　種村由季子

唐宋時代における洛陽の壊滅と復興　中尾健一郎

○附属図書館第十八回貴重文物講習会発表（当室生のみ掲載）

（二〇〇九年三月十三日　於医学図書館三階会議室）

一九五五年郭沫若の九大訪問とその軌跡　岸田憲也

○第五十七回九州中国学会大会発表（当室生のみ掲載）

（二〇〇九年五月十六日・十七日　於西南学院大学）

「意象」詞義考釈
―「漢書系列」を中心に―　羊列栄

左思「三都賦」と地方志　栗山雅央

徳宗朝楽府制作と元稹「楽府古題序」　長谷川真史

蘇軾文集の成立に寄与した四川の姻戚について　原田愛

○国際郭沫若学会第一回大会発表
(The First World Congress of the International Guo Moruo Academy (IGMA))

（二〇〇九年八月二七日・二八日（当室生のみ掲載）
於アメリカ・ジョンズ・ホプキンス大学）

試論日本・九州大学所蔵郭沫若相関文物
―以新発現的詩軸《盈盈灘水碧羅紈》為中心　岸田憲也

○中唐文学会第二十回大会発表（当室生のみ掲載）

（二〇〇九年十月九日　於東洋大学）

元稹「楽府古題序」における「新意」と「諷諭」　長谷川真史

○第六十一回日本中国学会大会発表（当室生のみ掲載）

（二〇〇九年十月十日・十一日　於文教大学）

陸游と四川人士の交流
―四川制置使兼知成都府范成大の治績と関連して―　甲斐雄一

宋元文学批評史上における劉辰翁の評点活動の評価
―劉辰翁評点『李長吉歌詩』を中心に―　奥野新太郎

○東アジア漢籍交流シンポジウム in 京都―「域外漢籍」の研究価値を考える―開催（二〇〇九年十一月十四日
於同志社大学寒梅館六階大会議室）

〈第1部　「域外漢籍研究」の定義とその成果〉

作為方法的漢文化圏　張　伯偉
海印寺雑板本『唐賢詩範』初探　金　程宇
〈第2部　日本から見た域外漢籍研究〉
補遺輯佚、索隠鉤沈―東亜漢籍研究的「互補」意義　蔡　毅
『集注文選』の成立過程について　陳　翀
中国文章論の受容と和文規範意識の形成　副島一郎
羅振玉所介紹的日本漢籍与其研究　陳　捷
〈第3部　中国古代文学研究と域外漢籍〉
日本詩文評類漢籍与中国文学批評研究　張　健
新出土唐代詩人墓誌研究　胡可先
中国宋代文学研究的現状与展望　王水照
〈第4部　総合討論〉　（司会）静永　健

○公開講座出講

＊九大社会連携事業「福岡・博多の古地図に親しむプロジェクト：シンポジウム　古地図に親しむⅡ」
（二〇〇九年一月十七日　於福岡県立図書館）
仏教世界の地図　原田　愛
＊九大言語運用総合研究センター社会連携特別セミナー
「漢字っておもしろい」
（二〇〇九年二月二〇日　於アーバン・オフィス天神）
マタヨロコバシカラズヤ？―『論語』が読める理由　静永　健
＊九大文学部・朝日カルチャーセンター提携講座
「人は　なぜ生きるのか（全六回のうち）」
（二〇〇九年十月十七日～二〇一〇年三月十三日）
年年歳歳花相似―唐詩の描く人生　静永　健

研究室刊行物

○『中国文学論集』第三十八号（二〇〇九年十二月発行）
琉球本と福建本
―『二十四孝』『童子摭談』を例にして―　陳　正宏
「意象」詞義考釈
―以「漢書系列」為中心―　羊　列栄
左思「三都賦」は何故洛陽の紙価を貴めたか　栗山雅央
元稹楽府古題「董逃行」考　長谷川真史
『集注文選』の成立過程について
―平安の史料を手掛かりとして―　陳　翀
五代史故事における女たち
―脈望館鈔本「哭存孝」を中心に―　福永美佳
蒋廷錫による『古今図書集成』挿図の改編について―日本内閣文庫所蔵『古今図書集成図纂』を手がかりとして―　大渕貴之
清代の閨秀詩人王貞儀について

―その「脂粉の気を除去する」説を中心に―　蕭　燕婉
早稲田大学図書館所蔵天明二年初版『唐詩選国字解』について　有木大輔
九州大学所蔵の郭沫若「盈盈灘水碧羅紈」詩軸について
―「舟游陽朔二首」其二の解釈と関連させて―　岸田憲也
中国語の音節構造の指導法について　野田雄史

英語英文学研究室

講義題目

平成二十一年度前学期

英語学

論文指導　西岡教授
英語学講義Ⅰ　英文法の諸問題　西岡教授
英語学演習Ⅹ　ミニマリスト統語論　西岡教授
英語学特論Ⅲ　ミニマリスト統語論の基本概念Ⅱ　西岡教授
英語学研究Ⅲ　統語論の諸問題Ⅰ　西岡教授
英語学演習Ⅶ　Languages of Europe and Asia　ベノム教師
英語学演習Ⅷ　Functional English Grammar　ベノム教師
英語学特殊研究Ⅲ　The Puzzle of Meaning: Categories in Language　ベノム教師
英語学講義Ⅵ　形式意味論入門　（ユトレヒト大学）小淵-フィリップ麻菜研究員
英語学特論Ⅷ

イギリス文学

論文指導　村井教授
イギリス文学講義Ⅰ　シェイクスピア研究入門　村井教授
イギリス文学演習Ⅰ　Antony and Cleopatra 研究　村井教授
イギリス文学特論Ⅶ　Mary Shelley 論　鵜飼准教授
イギリス文学特論Ⅴ　シェイクスピア作品研究　村井教授
イギリス文学研究Ⅴ　Coriolanus 研究　村井教授
論文指導　鵜飼准教授
イギリス文学演習Ⅶ　Charles Dickens 研究　鵜飼准教授
イギリス文学演習Ⅷ　Oscar Wilde 研究　鵜飼准教授
イギリス文学研究Ⅰ　George Eliot 研究　鵜飼准教授

アメリカ文学

論文指導　高野准教授

アメリカ文学講義Ⅰ　ヘミングウェイと宗教2　高野准教授
アメリカ文学講義Ⅱ　ヘミングウェイの描く娼婦と聖女　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅱ　20世紀短編小説の精読と評論　高野准教授
アメリカ文学特論Ⅰ　批評理論入門　高野准教授
アメリカ文学研究Ⅰ　メルヴィルの『ピエール』を読む　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅴ　Seminar in American Literature V — African-American Literature I(Slave Narratives)　サック教師
アメリカ文化研究Ⅲ　Seminar in American Culture III (Graduate Students) — Terror & American Culture I (pre-9/11)　サック教師
アメリカ文学講義Ⅵ　アメリカの近代を考える—マーク・トウェインとF. S. フィッツジラルドを読む　（東京工業大学）上西哲雄教授
英作文Ⅰ　Creative English: Poetry, short stories, and songs　ベノム教師
英会話Ⅰ　Towards English Fluency　ベノム教師
英会話Ⅰ　Conversation I　サック教師

講義題目

平成二十一年度後学期

英語学

論文指導　西岡教授
英語学演習Ⅰ　英語音声学入門　西岡教授
英語学演習Ⅺ　英語統語論入門　西岡教授
英語学特論Ⅳ　ミニマリスト統語論の基礎　西岡教授
英語学研究Ⅳ　統語論の諸問題Ⅱ　西岡教授
英語学演習Ⅸ　Language and Cognition　ベノム教師
英語学特殊研究Ⅳ　A Cognitive Approach to Lexical Semantic Analysis　ベノム教師

イギリス文学

論文指導　村井教授
イギリス文学演習Ⅱ　Antony and Cleopatra 研究　村井教授
イギリス文学演習Ⅲ　Othello 研究　村井教授
イギリス文学特論Ⅵ　シェイクスピアと言語　村井教授
イギリス文学研究Ⅵ　Coriolanus 研究　村井教授
論文指導　鵜飼准教授
イギリス文学講義Ⅲ　Emily Brontë 論　鵜飼准教授
イギリス文学演習Ⅸ　Jonathan Swift 研究　鵜飼准教授
イギリス文学特論Ⅷ　E. M. Forster 論　鵜飼准教授

イギリス文学研究Ⅱ　George Eliot 研究　鵜飼　准教授
イギリス文学講義Ⅳ　ディケンズの面白さについて
イギリス文学特論Ⅲ　（京都大学）佐々木徹　教授

アメリカ文学

論文指導　高野　准教授
アメリカ文学演習Ⅲ　20世紀短編小説の精読と評論　高野　准教授
アメリカ文学演習Ⅺ　Frank Norris の *McTeague* を読む　高野　准教授
アメリカ文学特論Ⅱ　批評理論入門　高野　准教授
アメリカ文学研究Ⅱ　メルヴィルの『ピエール』を読む　高野　准教授
アメリカ文学演習Ⅵ　Seminar in American Literature VI — African-American Literature II (Fiction & Speeches)　サック　教師
アメリカ文学演習Ⅸ　Seminar in American Literature IX — Introduction to the American Short Story Cycle (Jewett & Anderson)　サック　教師
アメリカ文化研究Ⅳ　Seminar in American Culture IV(Graduate Students) — Terror & American Culture II (post-9/11)　サック　教師
英作文Ⅱ　Composition II — The Short Essay　サック　教師
英会話Ⅱ　Conversation II　サック　教師
英会話Ⅱ　Smooth English　ベノム　教師
英米研究　Short stories, radio, and video in modern America and Britain　ベノム　教師

学会・研究室行事

日本英文学会第62回大会研究発表

（二〇〇九年十月　於宮崎大学）

Philippa Pearce の作品における子どもの願望の実現と喪失　原田洋海
ニック・アダムズと「伝道の書」
—ヘミングウェイの宗教観再考—　高野准教授
母親としての dark lady
— *The Scarlet Letter* における Hester Prynne の葛藤—　田島優子
英語の wh-in-situ 句とフェイズ理論　西村恵子
That 痕跡効果再考　阿部加春
Bleak House —腐敗に働きかける神意—　谷綾理子
Dubliners の女性—抑圧と解放—　中田恵
The Ambassadors における獲得への道のり
— Henry James の金銭観—　斎藤彩世
wh 関係詞と先行詞の同一解釈に関して　黒木隆享
関係節の再構築に関して　松永善子

場所句倒置構文の派生について　重松諒爾

「九大英文学」51号（二〇〇九年三月）

George MacDonald の The Golden Key における恐怖と共にある生への肯定　田中優子

マリアの凌辱――『誰がために鐘は鳴る』における性と暴力　高野准教授

Henry James の The Romance of Certain Old Clothes における姉妹の葛藤　斎藤彩世

Thoreauvian Salvation in the Wilderness: The Pursuit of Transcendental Virtue in the Water of Walden Pond　Nanoka Hayashi

WH 関係節における一考察
―間接的 Agree 分析による説明―　黒木隆善

英語における付加詞の「島」について　福澤健

不定詞節と仮定法現在節の統語構造分析
―wh 島と that 生起の現象を中心に―　松本知子

「ヘミングウェイ研究」第10号（二〇〇九年六月）

Dr. Adams の「建国神話」再読―アナクロニズムから読み解く「インディアン・キャンプ」論　山下美保

独文学研究室

講義題目

平成二一年度第一学期

文学部・独語学

講義　ドイツ語基礎演習　小黒准教授

作文　Aufsatz: Wissenschaftliches Schreiben　レンハルト教師

会話　DEUTSCH 1　レンハルト教師

演習　DEUTSCH 2　レンハルト教師

演習　現代ドイツ語の特徴　（熊本大学）荻野蔵平教授

文学部・独文学

講義　19世紀ドイツ文学研究
―「音楽神話」の成立と展開―　小黒准教授

演習　Proseminar　レンハルト教師

演習　セイレンたちの沈黙 I　小黒准教授

臨講　J.v. アイヒェンドルフと彼の文学をめぐる諸問題について　（金沢大学）久保田仁教授

人文科学府

演習　Hauptseminar　レンハルト教師

演習　ルードルフ・カスナー研究 I　小黒准教授

特研　Kolloquium　小黒准教授

平成二一年度第二学期

文学部・独語学

会話　DEUTSCH 1　レンハルト教師
演習　DEUTSCH 2　レンハルト教師
演習　現代ドイツ語の特徴　（熊本大学）荻野蔵平教授

文学部・独文学

講義　Spracherwerb: Theorie und Praxis　クレマ　教　師
講義　Vorlesung　レンハルト教師
講義　「水の精の物語」の身体論的研究
　―宴のあと（承前）―　小　黒　康　正　准教授
臨講　若きウィーン派の文学　（京都大学）西村雅樹教授
演習　Proseminar　レンハルト教師
演習　セイレンたちの沈黙Ⅱ　小　黒　康　正　准教授

人文科学府

演習　Hauptseminar　レンハルト教師
演習　ルードルフ・カスナー研究Ⅱ　小　黒　康　正　准教授
特研　Kolloquium　小　黒　康　正　准教授

学会・研究室行事

○「九州ドイツ文学」第22号（平成十九年十一月発行）

・〈自由に孕まれた矛盾〉のドラマトゥルギー
　――シラー『ドン・カルロス』について――　森　直　貴

・内なる自然の現れ
　――ゲーテの『若きヴェルターの悩み』について――　木　田　綾　子

・ゲーテ『ファウスト』における救済構造
　――『色彩論』の「曇り」概念を手がかりとして――　平　松　智　久

・トポス「水の精の物語」における妙音の饗宴
　――アイヒェンドルフ文学をめぐって――　小　黒　康　正

・〔書評〕根本道也著
　『ドイツの標準語――その生い立ちと辞典の個性――』　嶋　崎　啓

・〔書評〕大野寿子著
　『黒い森のグリム――ドイツ的なフォークロア――』　佐々木　博　康

・〔書評〕立花健吾・佐々木博康編『カフカ初期作品論集』　村　上　浩　明

・〔書評〕尾張充典著
　『否定詩学――カフカの散文における物語創造の意志と原理』　野　口　広　明

○日本独文学会西日本支部第60回研究発表会

（平成二〇年一一月二九―三〇日　於北九州市立大学）

・ドイツ民衆啓蒙運動におけるナショナリズム
　田口武史
・謎解き「魔女の九九」――ゲーテの『ファウスト』「魔女の廚」におけるあぐこぐな世界の叙述――　平松智久
・カフカの『歌姫ヨゼフィーネ、あるいは鼠族』における「戦い」の諸相　村上浩明

○第6回九大独文科研研究会「ドイツ近・現代文学における〈否定性〉の契機とその働き」
（平成二一年二月二一－二三日　於九州大学文学部）

・Die Farbe Gelb als Figur der Negativität.
　（京都大学）Arne Klawitter
・Negativität des sprachlichen Zeichens. Saussure als Vertreter einer konstruktivistischen Repräsentationstheorie.
　（福岡大学）Eva Ottmer
・Peter Handke, Peter Waterhouse und die Produktivität der Negation.
　（九州大学）Elmar Lenhart
・シラーとヘルメス的伝統―近代の否定層Ⅲ
　（山口大学）坂本貴志
・グスターフ・テオドール・フェヒナーとその時代
　（九州大学）福元圭太
・映像は如何に言語を補完するか
　――Der Neue Deutsche Film を中心に
　（九州大学）東口豊
・天球の音楽のモチーフとコトバ
　――H. Broch: Der Tod des Vergil解釈の一つの試み――
　（新潟大学）桑原聡
・Vom Beobachten des Beobachters der Beobachter
　――デュレンマットの小説『依頼』について
　（神戸大学）増本浩子

○博士論文公聴会
（平成二一年二月一七日　於九州大学教育学部会議室）

・『ある手紙』から『塔』へ
　―ホーフマンスタール文学における言語の生の展開―
　安徳万貴子

○ウーベ・ペルクセン教授（フライブルク大学）講演会
（平成二一年三月七日　於九州大学文学部）

・Plastikwörter　― Die Sprache einer internationalen Diktatur, demonstriert an international verwendbaren Beispielen

○モーニカ・シュミッツ＝エマンス教授（ボッフム大学）講演会
（平成二一年三月一四日　於九州大学文学部）

・Wiederholung der Wiederholung. E.T.A. Hoffmanns Erzählung "Die Räuber" als metaliterarische Erzählung im Kontext der Schauerliteratur

○「ドイツ文学」第138号（平成二一年三月発行）

・一八一一年の「翻訳」論――フケー『ウンディーネ』とクラ

イスト『水の男とセイレン』――　小黒康正

○日本独文学第51回蓼科シンポジウム

（平成二一年三月二三日　於蓼科アートランドホテル）

・Das Ewig-Weibliche zieht uns hinan. "– Über die Frauen in Goethes Faust.–"　Tomohisa Hiramatsu

○九州大学独文学会第23回研究発表会

（平成二一年四月二五日　於九州大学文学部）

・変容の詩学――ゲーテ『悲劇ファウスト』の飲食表現にみる魂の葛藤――　平松智久

・アンティポーデの闇――ブレンターノ／ゲレス『時計職人ボークスの不思議な物語』――　小黒康正

・ニーチェ兄妹それぞれの戦争観　恒吉良隆

・創造につながる虚偽――ムージル『熱狂家たち』における真実志向としての〈ペテン〉――　清原明代

○平成21年度日本独文学会春期研究発表会

（平成二一年五月三〇－三一日　於明治大学）

・ゲーテ『悲劇ファウスト』における「最高の美」――「曇り」としてのヘレナ試論――　平松智久

○第7回九大独文科研究会「ドイツ近・現代文学における〈否定性〉の契機とその働き」

（平成二一年九月一九－二一日　於九州大学文学部）

・インゲボルク・バッハマンにおける「語る主体」とジェンダー（2）―短編集『三十歳』から「すべて」（宮崎大学）小川さくえ

・「水の女」の黙示録　―インゲボルク・バッハマン『ウンディネー行く』をめぐって　（九州大学）小黒康正

・薄明とジャン・パウル　（九州大学）恒吉法海

・ホーフマンスタールのオペラ『影のない女』を統べる声なきものの声　（九州大学非常勤）安徳万貴子

・狩猟者の悦楽、あるいは自己喪失――ホガースとヴィンケルマンにおける彫像観察について（駒沢大学）武田利勝

・ベンヤミンと子どもの本　（大東文化大学）岡本和子

・ムージル文学における群衆　（山口大学非常勤）時田郁子

○私立向陽高等学校橘香館（長崎県大村市）との高大連携事業

（平成二一年九月二八日　於九州大学文学部独文学研究室）

○平成21年度日本独文学会秋期研究発表会

（平成二一年一〇月一七－一八日　於名古屋市立大学）

・Franz Kafkas *Das Schloß* in der Verfilmung von Michael Haneke　Hiroaki Murakami

・アイヒェンドルフへのアプローチの可能性――アドルノとアーレヴィンの観点の違いを手がかりに――　水守亜季

・観察者の観察――フランツ・カフカ『城』における対立する視線――　下薗りさ

仏文学研究室

講義題目

平成二十一年度前学期

仏語学

演習　フランス語会話Ⅱ　ソコロゴルスキー教師
講義　フランス語の文章作法　ソコロゴルスキー教師

仏文学

演習　20世紀の小説　吉井教授
演習　20世紀の文学批評　吉井教授
研究　テクスト分析の諸問題　吉井教授
特論　*NRF*研究　吉井教授
講義　19世紀フランス文学研究　髙木准教授
演習　フランス近代小説講読　髙木准教授
特論　フランス・ロマン主義研究Ⅰ　髙木准教授
研究　フランス近代文学研究　髙木准教授
講義　フランスの歴史と文化　ソコロゴルスキー教師
研究　Dissertation littéraire　ソコロゴルスキー教師
特論　フランス啓蒙主義研究　ソコロゴルスキー教師
演習　フランス近代小説研究　（言語文化研究院）森　茂太郎教授
臨講　ポール・ヴァレリーの詩と散文　（東京大学）山田　広昭教授
臨講　アルチュール・ランボーの詩法　（兵庫県立大学）木下　誠　教授

平成二十一年度後学期

仏語学

演習　フランス語作文Ⅱ　ランベール教師
演習　フランス語会話　ランベール教師

仏文学

演習　19世紀の絵画批評　髙木准教授
演習　フランス近代小説講読　髙木准教授
特論　フランス・ロマン主義研究Ⅱ　髙木准教授
研究　フランス近代文学研究　髙木准教授
講義　フランスの歴史と文化　ランベール教師
研究　Dissertation littéraire　ランベール教師
特論　フランス啓蒙主義研究　ランベール教師
演習　フランス近代小説研究　（言語文化研究院）森　茂太郎教授
臨講　フランス現代小説及び日仏翻訳文化論　横川　晶子講師
臨講　フローベールの小説の現代性　（長崎大学）大橋絵理准教授

La nostalgie originelle dans l'œuvre de Camus
Tomoko ANDO

Nietzsche et la mélancolie d'Eschyle
Igor SOKOLOGORSKY

Le sujet du silence chez Mallarmé
Olivier KACHLER

○ピエール＝エドモン・ロベール教授（パリ第3大学）講演会
（平成二十一年四月二十七日　於九州大学文学部）

学会・研究室行事

仏文学関係

○「ステラ」第27号（平成二十二年十二月発行）

アンドレ・ジッドとポール・フォール　吉井亮雄
コントの成立――『三つの物語』と書簡――
モーパッサンの幻想と病勢　大橋絵理
プルーストとプリミティヴ派絵画　宮川佳代
――「スワン夫人をめぐって」の娼家とマンテーニャ――
〈夢の子〉の変容　加藤靖恵
――ベルナノス『新ムーシェット物語』――
ハティビ『二重言語の愛』における語りの問題　野村知佐子
「バイリンガル作家」ナンシー・ヒューストン　井上祥子
「メルモ＝ポンジュ往復書簡」　横川晶子
教科書の詩学　飯田伸二
――フランスのコレージュにおける国語教育の現状――
知覚動詞・認知動詞の代名動詞　飯田伸二
井口容子

人事異動

四月一日　宮川佳代、人文科学研究院専門研究員に着任
九月三十日　イゴール・ソコロゴルスキー、招へい外国人教師を退任
十月一日　吉井亮雄教授、サバティカル制度により研究休暇に入る
十月一日　エルベ＝ピエール・ランベール、招へい外国人教師に着任

言語学研究室

講義題目

平成二十一年度前期

文学部

概論　言語学概論　稲田俊明
講義　言語の規則と原理　稲田俊明
講義　心理言語学入門―言葉・心・脳　坂本勉
演習　音声学の基礎　久保智之
演習　日本語の形態論・統語論・意味論　上山あゆみ
実習　卒業論文指導　各教員
講義　日本語名詞句の文法：集合・数量に関する表現　（福岡大学）江口正

平成二十一年度後期

演習　言語獲得研究と言語学　稲田俊明
演習　文理解研究　坂本勉
講義　音声学実習　久保智之
講義　日本語の基本構造　上山あゆみ
実習　卒業論文指導　各教員
講義（集中）心理言語学　（静岡県立大学）寺尾康

平成二十一年度前期

人文科学府

特論　文法理論特論Ⅰ　稲田俊明
研究　文法理論の諸問題　稲田俊明
特論　言語実験の理論と応用Ⅰ　坂本勉
研究　ソシュール研究の諸問題Ⅰ　坂本勉
特論　満洲語講読（満文原档Ⅲ）　久保智之
研究　漢語音韻論研究1／2　久保智之
特論　言語理論と統語論・意味論　上山あゆみ
研究　先行研究の批判的検討　上山あゆみ
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
特論　日本語名詞句の文法：集合・数量に関する表現　（福岡大学）江口正

平成二十一年度後期

特論　文法理論特論Ⅱ　稲田俊明
研究　文法理論の諸問題　稲田俊明
特論　言語実験の理論と応用Ⅱ　坂本勉
研究　ソシュール研究の諸問題Ⅱ　坂本勉
特論　満洲語講読（満文原档Ⅳ）　久保智之
研究　漢語音韻論研究2／2　久保智之
特論　言語理論と統語論・意味論　上山あゆみ
研究　先行研究の批判的検討　上山あゆみ

言語学研究法　　全教員
論文指導　　各教員
特論（集中）日本語アクセント論（東京大学）上野善道
特論（集中）心理言語学（静岡県立大学）寺尾康

人事異動

六月一日　山本将司　助教に着任

学会・研究室行事

九州大学言語学研究会

第六十九回

（二〇〇八年十二月六日　於九州大学文学部共同演習室）

「無圏点満洲字研究」（東北学院大学）早田輝洋

「長崎二型音調の音声学的特徴」（九州大学）松浦年男

第七十回

（二〇〇九年五月二十三日　於九州大学法経演習室P21）

"Toward a scientific study of the language faculty: a proposal and implications"

（南カリフォルニア大学）Hajime Hoji

第七十一回

（二〇〇九年九月二十五日　於九州大学文学部会議室）

"Syllable-based phonological representation and its phonetic implementation: the C/D model"

（オハイオ州立大学）藤村靖